

平成28年7月18日

第2回

商店ガイドジャー キッズ事業

Mazasse × KIDZ



実施団体：特定非営利活動法人まざっせKORIYAMA

事業名：「ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業」

委託者：福島県商工労働部商業まちづくり課

この事業は福島県東日本大震災子ども支援基金を活用しています

日程：平成28年7月18日(日)

時間：10:00～16:00

場所：CaffeW23 (郡山市大町 まざっせプラザ2階)

参加者：16名 (スタッフ・関係者12名)

カリキュラム 前期 第2日目

テーマ及び時間	目的	会場	講師
～商店街活動について～ 講義 10:00～11:00	商店街の役割や日々の活動について知ってもらうとともに、商店街の特色を知ってもらう(前回の振り返りも行う)	CaffeW23	郡山市中央商店街振興組合 齊藤 邦昭 郡山市大町商店街振興組合 副理事長 宮川 雄次
～商店街のお仕事を体験してみよう～ 体験 11:00～12:30	商店街のお店のお仕事を通して、店主の専門知識や商売に対しての心構えを知ってもらう	CaffeW23	郡山市大町商店街 ヒグチ時計店 樋口 辰彦 郡山市中央商店街 なかごう園 菊池 威男
～昼食～ 12:30～14:00	郡山のまちなかの美味しさを知ってもらう	大町商店街 三松会館	
～商店街で感じたこと～ ワークショップ 14:00～14:30	これまでの学習や体験を通して、子どもたちの商店街の見方や感じ方について知る	CaffeW23	ファシリテーター 一般社団法人 葛力創造舎 代表理事 下枝 浩徳
～理想の商店街って?～ ワークショップ 14:30～15:10	子どもたちが考えている、理想の商店街やまちなかとはどのようなものか知る	CaffeW23	ファシリテーター 一般社団法人 葛力創造舎 代表理事 下枝 浩徳
～まちなかでやってみたいこと～ ワークショップ 15:10～16:00	現段階で子どもたちが商店街やまちなかでやってみたいこと、こうなれば楽しいということを知る	CaffeW23	ファシリテーター 一般社団法人 葛力創造舎 代表理事 下枝 浩徳

～商店街活動について～



中央商店街・齊藤邦昭さんからのお話。商店と商店街の違いをお聞きしました。個店ではできないような共同の事業を商店街では行っている。

みんなで協力して道路の清掃を行ったり、花を植えたり、お客さんが使いやすいよう街をきれいにしている。使いやすいように駐車場を運営したり、楽しい街になるようにイベントを行っている。



大町商店街・宮川副理事長からのお話。毎年5月から11月の第一日曜日に行っている「おおまち笑・Show・商」のお話を中心にお聞きしました。

普段の商店街は人通りが少ないが、イベントを行うとたくさんの方が来て賑わいができる。その賑わいが商売に繋がると考え協力してイベントを行っている。。。

～商店街のお仕事を体験してみよう～



大町商店街のヒグチ時計店。時計、宝飾、眼鏡販売一筋80年!樋口辰彦さんが講師。世界に一つだけの時計作りをしました。日時計からクォーツ時計に至る歴史や、コンパスや分度器を使い、時間の入れ方を教わりました。子どもたちも個性的なデザインの時計を作り、大満足でした。



中央商店街のなかごう園茶舗の菊池威男さんが講師。「本山」と「川根」という2種類のお茶を使い、美味しい入れ方を学びました。

まずはお茶碗にお湯を入れ、お湯を冷まします。必要なお湯の量を量るという意味もあるそうです。子どもには少し苦いようでしたが、味や香りの違いを楽しんでいました。

～昼食～



「まちなかは美味しいところ」まちなかの思い出を少しでも作って欲しいと考え、この事業では必ずまちなかの何処かでみんなで昼食を取ります。

今回は大町商店街にある「三松会館」老舗食堂でラーメンから丼ものまでなんでもあります。私達が子供の頃に食べた味、雰囲気は今でも残るまちなかの宝のようなお店です。

～商店街で感じたこと～



下枝さんによるワークショップ。これまで「見たり」「聞いたり」「体験した」ことで商店街について、改めて感じたことや課題について話し合いました。

子どもたちの商店街に対する印象は前回ははじめの時と大きな違いは無いようでした。共通した課題は「人通りが少ない」「遊ぶところがない」「あつい」「お店が少なくなった」ということでした。

～理想の商店街って?～



この話題では子どもたちは大盛り上がりで、「買い物をする」と一万円もらえる」「すべての商品がただ」「買物するとヨーロッパに行ける」などすごい意見が飛び出しました。最終的には「イベントをする」「ゲーム大会をする」「情報発信をする」などの意見にまとまりました。

～まちなかでやってみたいこと～



長時間のワークショップにもかかわらず子どもたちは元気いっぱい「まちなか」でやりたいことを考えています。
・ユーチューバーになってまちなかの商品情報や鬼ごっこ、ゲーム大会の発信
・まちなかに遊園地を作りたい
・アニメショップ経営、街のお掃除などを今のところやってみたいそうです楽しみですね。